

NAGAOKA



長岡花火

-NAGAOKA HANABI-

長岡花火は世界平和への メッセージ

長岡まつり大花火大会は、慰霊と平和への願いを込めて打ち上げている日本で唯一の花火大会。日本一の大河・信濃川の河畔で約2万発の花火を打ち上げます。

火焰土器

-KAENDOKI-

5千年の歴史は日本遺産
エネルギッシュな造形美は世界を魅了



※1 火焰土器 …国指定重要文化財。1936年に馬高遺跡（国指定史跡）で発掘された1つの土器の名称馬高縄文館で展示している

長岡市の馬高遺跡で出土した「火焰土器」※1。

燃え上がる炎をほうふつとさせ、信濃川流域に広がった縄文文化を感じることができます。

この火焰土器を含む火焰型土器は、平成28年4月、日本遺産に認定されました。

錦鯉

-NISHIKIGOI-

錦鯉発祥の地・長岡
日本農業遺産に決定



中越大震災からの復興のシンボルとして平成26年10月23日「市の魚」に制定。山古志・川口地域などかつての「二十村郷」が発祥の地で、その歴史は約200年以上。研究、改良によって100種にも及ぶ品種が作り出されています。



長岡市は2020東京オリンピック・パラリンピック
オーストラリア競泳チームドルフィンズのホストタウンです。



長岡市長
磯田 達伸

オーストラリア水泳連盟と2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた事前キャンプに係る連携協定を締結できたことを大変うれしく思います。協定の締結にご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

この交流事業は国のホストタウン事業に登録され、国からの支援を得て万全のサポート体制が整いました。長岡市民をあげて、オーストラリア競泳チームを歓迎いたします。

2020年までの4つの世界大会の事前キャンプ等で、世界を代表するトップスイマーの泳ぎを間近で見て、家族のように応援できる喜びは計りしれません。

当市では、2020年に向け、世界トップレベルのスポーツに触れ、未来を担う子どもたちの夢を育み、競技力向上につなげるとともに、国際・文化交流を促進するなど、将来の長岡の発展につながる「スポーツによるまちづくり」を推進しています。

オーストラリア競泳チームがご活躍され、長岡市民にとっても記憶に残る大会となるよう、ホストタウンとしての役割をしっかりと果たしてまいります。

オーストラリア競泳チームとの交流

2016

- 5月24日 オーストラリア水泳連盟（ドルフィンズ）が来岡、施設を視察（GM：ウェイン・ローマス氏、ヘッドコーチ：ジャコ・バーヘーレン氏）
- 8月3日 長岡花火にクレア・ウォルシュ豪大使館首席公使を招待
- 11月11日 オーストラリア水泳連盟から当市で事前キャンプを行いたいとの文書連絡（オーストラリア水泳連盟チーフコマーシャルオフィサー：クリス・フォーブス氏）



2016年5月24日

2017

- 3月28日 長岡市において「オーストラリア競泳チーム事前キャンプに係る連携協定」締結（マーク・アンダーソンCEO、クリス・フォーブス氏来岡）
- 5月15日～18日 ジャパンオープン2017（5/19～/21東京辰巳国際水泳場）の事前キャンプとして、豪クイーンズランド州選手団22名を受け入れ
- 8月3日 リチャード・コート駐日豪大使が来岡し、施設を視察
- 10月15日 新潟県スプリント選手権（主催：新潟県水泳連盟、会場：DPフェニックスプール）へ、豪選手団6名を招待
- 11月8日～12日 FINAワールドカップ東京大会の事前キャンプとして、豪選手団12名を受け入れ
- 11月19日～24日 オーストラリア水泳連盟及び在豪の日本国関係機関への表敬、オーストラリアの水泳練習環境を視察のため、当市から訪問団を派遣



2017年3月28日



2017年5月17日

■協定を結んだ事前キャンプ

2018

- 7月25日～8月5日 パンパシフィック水泳選手権（8/9～13東京辰巳国際水泳場）の事前キャンプとして、豪選手団を受け入れ



2017年10月14日

2019

- 7月6日～17日 世界水泳選手権（7/21～/28韓国）の事前キャンプとして、豪選手団を受け入れ



2017年11月22日

2020

- 7月8日～20日 東京オリンピック（7/24～8/9）の事前キャンプとして、豪選手団を受け入れ
- 8月8日～20日 東京パラリンピック（8/26～9/5）の事前キャンプとして、豪選手団を受け入れ



長岡市スポーツ親善大使
中村 真衣

2000年シドニー五輪

- 100m 背泳ぎ 銀メダル
- 400m メドレーリレー 銅メダル

オーストラリア競泳チームが2020東京オリンピック・パラリンピックまで、4つの国際大会の事前キャンプ地に長岡市を選んでくださったことを大変うれしく思います。

長岡の子どもたちに世界トップレベルの泳ぎを間近でみて、触れて、感じることができる貴重な機会をいただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

私にとってオーストラリアは、思い出の多い特別な国です。国際大会で初めてメダルを獲得した1998年のパース、2000年シドニーオリンピックでの2つのメダル、そして、競技者としての最後のレースは、2007年のFINA世界水泳選手権メルボルン大会でした。

ご縁のあるオーストラリア競泳チームとの交流をきっかけに、ふるさと長岡から私に次ぐオリンピックメダリストが誕生したら、これ以上の喜びはありません。

私もオーストラリアと長岡市、両国の友好関係が、より一層強い絆で結ばれるよう、全力で応援してまいります。

オーストラリア競泳チームの益々のご活躍と2020東京オリンピック・パラリンピックの成功を心からご祈念申し上げます。

